



質問箱

Q & A

相対度数の表し方

1年生

Q uestion

相対度数は、分数で表してはいけないのでしょうか。また、各階級の相対度数を小数で表すと、それらの合計が1にならない場合もありますが、例えば0.99になった場合、度数分布表の相対度数の合計の欄には、0.99と示すのでしょうか。

A nswer

相対度数を用いる目的を考えると、小数で表す方が好都合です。

例えば、相対度数を分母の異なる分数で表した場合には、2つの階級でどちらの度数が大きいのかを瞬時に判断しにくくなったり、その階級の度数の全体に対する割合がわかりにくくなったりすることがあります。相対度数を求めること自体が目的ではなく、求めた相対度数を活用して資料を読み取ることが大切ですので、活用しやすい形を考えて、相対度数は小数で求めるように指導するのがよいと思います。

また、四捨五入によって各階級の相対度数を求めた場合に、それらの合計が 1 にならない場合もあります。そのときにも、全体を 1 として考えていることを示す意味で、相対度数の合計の欄には 1.00 のように書きます。

このとき、相対度数の合計がちょうど 1.00 となるように各階級の相対度数を調整する必要はありませんが、円グラフに表したりするなど、相対度数の合計が、1.00 になっている方が都合がよい場合には、相対度数のもっとも大きい階級で調整することが多いようです。

＼ 学びがいっぱい！ ／

情報配信サービス

中学校 **エデュアル**